

利 中 だ よ り

山脈 (やまなみ)

令和2年度 第5号

令和3年3月22日

南砺市立利賀中学校

<http://toga-jhs.7104.info/>



「笑顔」は「学校の活力」「地域の宝」

校長

「気をつけて帰られ」との声かけに、

「はい」

「さようなら」

と、手を振って帰る生徒たち。

これは、毎日の下校の様子です。学校には、いつも5人の笑顔があります。

4月以来、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動が制限されました。しかし、今できる最善のものを創りあげようと生徒と教職員が知恵を出し合い、活動することができたと思っています。感染防止対策を最優先に、充実した2日間を過ごした宿泊学習。ステージ発表の場を体育館に変え、小中学生が輝いた金剛祭。これらはその一例です。これまでのことを当たり前とせず、何事にも力を合わせて前向きに取り組んできた利賀中生。そんな姿への頼もしさとともに、「笑顔は何ものにも変えられない宝物」であることを実感した年になりました。

また、今年度は様々な地域行事が中止となり、地域の方々との活動があまりできませんでした。そんな中、「喜楽訪問」や1日だけの「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」等の活動の場を与えていただき、地域で学ぶ機会をもてたことを大変ありがたく思います。



私は、学校の役割の一つに「人づくり」があると考えています。この地域に生まれ

育ったことに感謝し、社会に貢献しようとする「やさしくたくましい生徒」を育てることで。来年度は、山村留学生（南砺利賀みらい留学）が仲間に加わります。留学を希望する子供たちと話をする機会がありましたが、どの子も「違う環境で自分を成長させたい」「利賀の自然に触れ、思い切り活動したい」などの思いを堂々と語ってくれました。中学生のこの時期に家族から離れる勇気と、自分の願いを実現させたいという決意をもっているのです。「利賀っ子」は、そんな子たちと共に生活していくことになります。利賀に生まれ育った先輩として、自信と誇りをもって活動してくれることと期待しています。そして、山村留学生との交流を通して、「ふるさと利賀を想う気持ち」を一層育んでいけたらと思います。



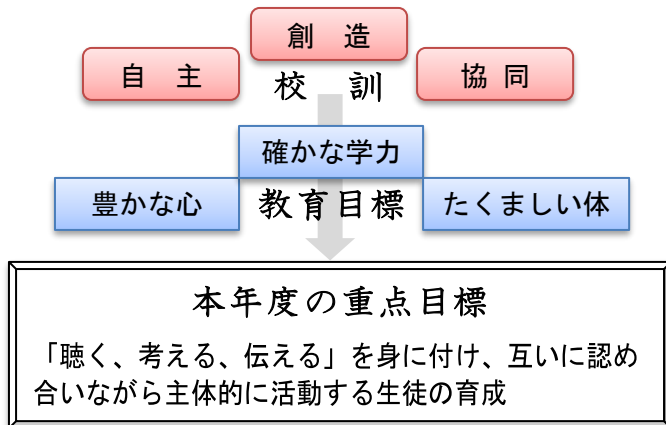
4月からは、4年ぶりに3学年の生徒が揃います。生徒たちの笑顔が一層輝くよう、そして、利賀中学校の歴史に新たな1ページを刻むことができるよう、学校、家庭、地域の連携、分担及び協働を図りながら取り組んでいきたいと思っています。

終わりに、一年間、様々な方面から学校を支えていただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

活動の取組

★アクションプラン ～学校評価アンケートから～

1 学期（8 月実施）、2 学期（1 2 月実施）



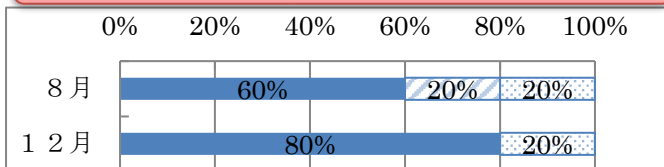
アクションプラン 2020

- 徳** 思いやりをもち、人のために自分から行動することができる生徒 = 80%以上
- 知** 「聴く、考える、伝える」を意識して、学びを深めることができる生徒 = 80%以上
- 体** 心身を鍛える意識をもって体力づくりに取り組むことができる生徒 = 80%以上

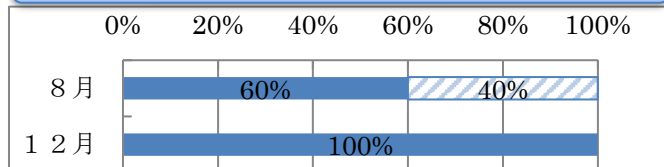
アクションプランの評価 ■ あてはまる ■ だいたいあてはまる ■ あまりあてはまらない □ あてはまらない

〈生徒〉

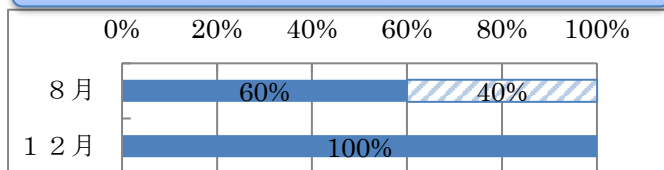
(徳) 思いやりをもち、人のために自分から行動するよう心がけていますか。



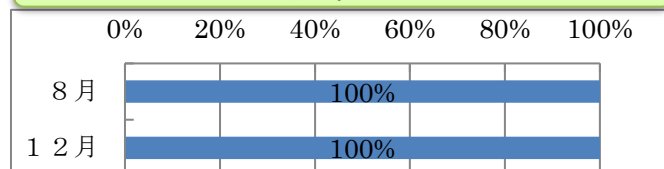
(知) 授業では、「聴く、考える、伝える」が身に付くよう、意識して学習することができましたか。



(知) 授業では、振り返りを通して「分かった」「できた」を実感できていますか。

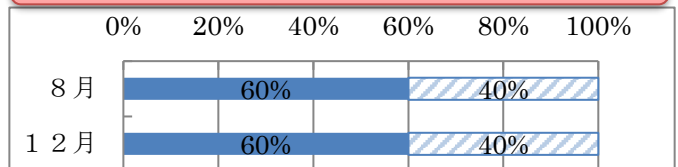


(体) 自分の心や体を鍛える意識をもって授業や部活動等に取り組んでいますか。

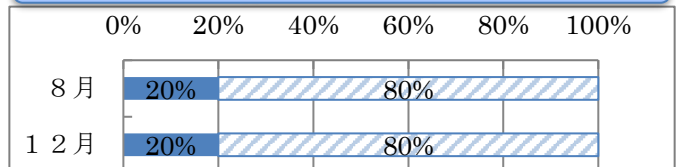


〈保護者〉

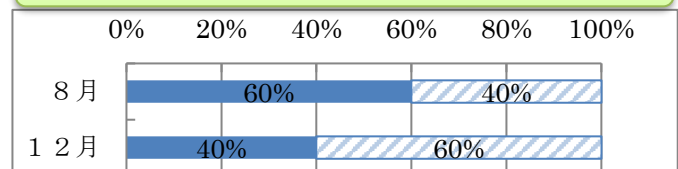
(徳) お子さんは、思いやりをもち、人のために自分から行動していると感じますか。



(知) お子さんは、人の話を聞いたり自分の考えを話そうとしたりする姿が見られますか。



(体) お子さんは、自分の心や体を鍛える意識をもって、授業や部活動に取り組んでいると思いますか。



すべてのアクションプランにおいて、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の結果を合わせると、生徒は1学期に比べ、2学期の評価が高くなり、目標値を達成することができました。項目ごとにみると、「徳」では、「あまりあてはまらない」を選択した生徒もいます。思いやりのある行動を認める声かけをより積極的に行い、人のために貢献することの喜びに気付けるようにしていきたいと考えています。「知」では、どの活動においても「聴く、考える、伝える」ことを意識して取り組む姿が見られ、2学期にはすべての生徒が目標を達成できたと感じています。「体」も「知」同様、達成率が100%です。今後も生徒の力が高まるよう、支援していきます。

★総合的な学習の時間の取組(2年生)

2年生は、“一流の田舎を目指す「利賀の『働く』」”というテーマを設定し、利賀を見つめる活動を行いました。南砺市はSDGs 未来都市に選ばれていることから、SDGsの視点を取り入れて考えました。1年間の追究活動において、主に3つのことを調査しました。

- ①利賀の事業所をすべて挙げて業種の構成比を出し、全国や富山県の構成比と比較することで利賀の業種の特徴を知る。
- ②利賀に拠点を移して働いておられる方に話を聴き、利賀で働くメリットや利賀の魅力を探る。
- ③利賀で働く理由(働かない理由)等についてアンケート調査を行い、利賀で働くことの長所と課題を探る。

この3つの調査結果を考察して見えてきた利賀の魅力と課題から、生きがいを感じて働くことができ、住み続けられる利賀にするためにはどうしたらよいかを考えました。

10月には金剛祭で調査の中間発表をしました。また、3月には南砺市商工会利賀村支部を訪問し、利賀で働いてもらえるための方策を提案しました。生徒たちは、聴いてくださった方の質問や感想を聴き、今後さらに検討していくことを見付けました。また、考えや思いを発信していくことの大切さにも気付きました。

生徒たちの活動の様子から、利賀をずっと住み続けられる地域にしたいという強い思いが伝わってきました。今後も、ふるさと「利賀」を大切にしていってほしいと思います。



★自分の未来を描く出前講座

3月5日、キャリア教育の一環として「自分の未来を描く出前授業」を行いました。

人づくり・学び舎の浦井啓子さん、となみ衛星通信テレビの宮脇将吉さん、まきあどの川田真紀さんを講師に招き、働くことや喜び、やりがい等について話を聞きました。職業について理解を深め、生き方に触れることができた貴重な機会となりました。

この授業を通して、「自分を信じて努力を続けたい」「利賀地域のもつ課題を解決するために自分にできることをしたい」などの感想が聞かれ、自分や地域の未来について考えることができました。



☆3学期の活動の様子～学校行事・生徒会活動～



新年の抱負発表会



小中書初大会

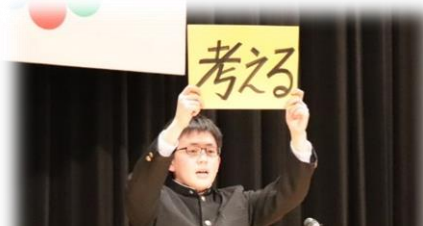


百人一首大会

協力して美しく大きい雪だるまを作るにはどうすればよいか考えました。



スノーフェスティバル



令和3年度 前期生徒会役員選挙



おそうじコンテスト

生活向上委員が企画しました。各自ロッカーを整理整頓し、美しく保とうと心がけました。



書き損じはがき贈呈式



生徒集会

小中合わせて218枚のハガキが集まりました。

栄光の記録

・富山県中学校美術展	出展	2年
		1年
・富山県小・中・高校生書初大会	特選	1年
・とやまOPEN中学生ものづくりプロモーションビデオコンテスト	感動賞	2年



春休みの過ごし方 ～新年度を迎えるにあたって～

春休みは、新たな学年への進級の節目の時期です。生徒一人一人が規則正しく有意義な生活を送り、新たな気持ちで新年度を迎えることができるよう、学校では以下の点について指導をしています。ご理解とご協力をお願いします。

- (1) 規則正しい生活を心がけ、健康管理に努める。
- (2) 計画的に学習課題（宿題）に取り組む。
- (3) 感染症対策や交通安全に十分留意し、自分の命は自分で守る意識をもつ。
- (4) 家族・地域の一員として、進んで手伝いをしたり行事に参加したりする。
- (5) 出入りが禁止されている場所・施設には行かない。
- (6) SNS等のサイトに不適切な画像や個人情報を掲載しない。

